

職人さん。

いの町のまちで会いましょう

第13話

2022.1月号

いの商店街で育った店を、息長く。

自転車とバイクの販売・メンテナンス

にしうち りゅうじ にしうち かずや
西内 隆二 さん 西内 和也 さん



プロフィール:旧本町で自転車とバイクを扱ってきた老舗専門店。創業90年ほどとなり、隆二さんが三代目。弟の和也さんと息の合った仕事ぶり。両親も現役です。

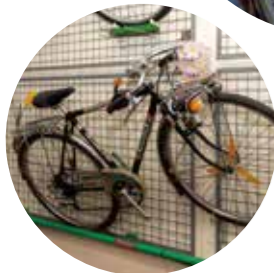
いの町中心商店街の、ちょうど真ん中あたり。町屋が並んでいる中に溶け込むような自転車とバイクのお店。最上階からは、いの商店街から役場にかけての景色が見渡せます。

西内商會を切り盛りする主役は、3代目の西内隆二さんと、5歳下の和也さん。4人きょうだいのふたりが、それぞれ結婚して家業を承継しました。「まちの自転車屋さん」として頼られています。地域住民のほとんどが、子どもの自転車からいわゆるママチャリ、そして電動自転車まで、この店とのお縁を持っているといっても過言ではないほど。しっかり作られていて長く乗れるメーカーの自転車と、消耗品の修理。販売した商品の点検サービスも行っています。高知県ではまだ義務化されていませんが、自転車の損害賠償保険への加入はおすすめで。

調子がおかしくなった愛車のバイクや自転車が、もとどおりに直って動くのは、ほんとうに嬉しいもの。取材した時に修理していたのは、



お客さんとバイクや自転車の話をするのも楽しいという和也さん。



修理に活躍するメガネレンチ。

1960年代、一世を風靡したジュニアスポーツ車をストック!



業務用二輪自動車の修理や整備は特に急ぎですが、確実に。

新聞配達のためのスクーターでした。郵便配達や消防士さんのバイクなど、このまちで働くバイクもまた、西内商會のお得意さんなのです。

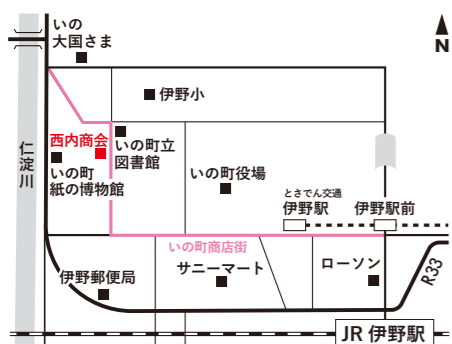
次男の隆二さんは高校卒業後、埼玉県にあるメーカーの学校で、自転車整備の訓練と資格を受けてきました。そして働きながら、バイクの整備資格などを取得しています。三男の和也さんは東京で10年ほど違う分野の仕事をした後、子どもが生まれるのをきっかけに、高知へ家族でUターンしました。後にバイクの整備士の資格を取って、今ではつなぎの作業服がすっかり板についています。和也さんの趣味は家族でキャンプへ行くこと、自然豊かな高知を楽しんでいます。隆二さんは高校時代から続けている野球が趣味。社会人軟式野球チームのコーチとして汗を流します。

隆二さんが店を受け継ぐ時も、和也さんが高知へ帰って一緒に働きたいと言った時も、両親は格段に大喜びしたわけでもなければ、教訓めいたことも一切、言いませんでした。ここで生まれ育った兄弟にとっても、自然な流れだったのでしょ。戦後の高度経済成長期、大国さまのお祭りで屋

台がこの店の前辺りまで延びるほどにぎわった中心商店街。ここで両親は真面目に精一杯働き、4人の子どもの育て上げたのです。幸せですと言わなくても、跡を継いでと言わなくても、子どもたちはしっかり、親の背中を見ていたのだなあと感じた取材でした。

子どもの頃、かっこいいと思えた親の仕事、ちゃんと受け継ぐ人になるというのは、ありそうでないこと。地域の人口が減って、車社会になっても、自転車やバイクのない生活は成り立ちません。まして、自転車は二酸化炭素の出ないエコな乗り物です。彼らの仕事は、自転車やバイクを売ったり修理するだけではありません。地元ならではの付き合いを大切にしています。隆二さんのモットーは「お客さんの要望をしっかり聞くこと」。いつも肝に銘じています。

店の前を通りがかると、やがて百年続いた後も、淡々と日々の仕事をするであろう西内家の人々の姿が見えてくるのです。



有限会社 西内商會

いの町 3659
営業 / 8:45 ~ 18:30 頃
定休日 / 日曜、年末年始など
TEL / 088-892-0477

